

東北医科薬科大学の トライアルのまとめ

- 1 第Ⅰ期・第Ⅱ期の先行導入の結果
- 2 システムトライアルの結果

東北医科薬科大学薬学部薬剤学教室
我妻 恭行

1 第Ⅰ期・第Ⅱ期の先行導入の結果

<トライアル対象施設>

平成30年度 第Ⅰ期、第Ⅱ期に当大学実習生の実習施設

<評価の実施時期>

第Ⅰ期、もしくは、第Ⅱ期のいずれかで実施

評価タイミングは、第4週、第8週、最終週の3回を基本
(追加で評価回数を増やすのも可能)。

<評価項目>

- 実務実習概略評価表の<表1 実務実習評価項目>の大項目(1)～(3)に含まれる概略評価に該当する10項目の中から 3項目以上について評価。
- 大項目(1)②の「臨床の心構え」は必須項目。

トライアル結果

	対象 施設数	実施 施設数	実施率	実施 学生数
薬局	126	44	34.9%	54人
病院	50	13	26.0%	20人
計	176	57	32.4%	74人

(平成30年10月26日現在)

トライアル結果(薬局)

回答施設数:44 施設、学生数:54 施設

大項目	観点	回答 施設数	平均評価点 (11週目)	評価点内訳(人)				
				0点	1点	2点	3点	4点
薬学臨床の 基礎	臨床の心構え	54	3.2			2	37	15
処方せんに 基づく調剤	処方せんと疑義照会	41	2.9			11	25	5
	処方せんに基づく医薬品の 調製	42	3.0			6	28	8
	患者・来局者対応、 服薬指導、患者教育	35	2.8			10	22	3
	医薬品の供給と管理	32	2.8		1	8	19	4
	安全管理	31	2.8			9	20	2
薬物療法の 実践	患者情報の把握	44	2.1		1	9	21	3
	医薬品情報の収集と活用	33	2.8		1	6	23	3
	処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)	31	2.7		2	10	17	2
	処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と 副作用の評価)	32	2.7	1	1	10	16	4

トライアル結果(病院)

回答施設数: 13 施設、学生数: 20 施設

大項目	観点	回答 施設数	平均評価点 (11週目)	評価点内訳(人)				
				0点	1点	2点	3点	4点
薬学臨床の 基礎	臨床の心構え	20	3.0			4	12	4
処方せんに 基づく調剤	処方せんと疑義照会	13	2.5			6	7	
	処方せんに基づく医薬品の 調製	19	3.2		1	1	11	6
	患者・来局者対応、 服薬指導、患者教育	12	3.0				12	
	医薬品の供給と管理	13	2.7			5	7	1
	安全管理	11	2.8		1		10	
薬物療法の 実践	患者情報の把握	18	3.2				14	4
	医薬品情報の収集と活用	11	2.8		1	2	6	2
	処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案)	12	2.5			6	6	
	処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と 副作用の評価)	13	2.9			1	12	

フリーコメント

- 学生と共に実習中の現段階を主観的・客観的に評価し、次の段階へ進めていきやすい。
- 概略評価の場合は項目数がコンパクトになっており、目指すべき姿がお互いに認識しやすいと感じました。その目指す姿になるために何を行うかと言う事を話すときに、既存のSBOsを活かすことが大事であると改めて感じました。
- 学生自身も評価の理由がわかることで、ステップアップに向けた目標を把握しながら実習を行えると感じた。

(つづき)

- 評価基準のレベルが高く、到達しているという評価を記入することが難しいように感じております。
- 項目によっては実習初期に実施しない部分などがあり、スケジュールと評価の時期が難しいと感じた。
- 実務実習概略評価表の評価基準が複数ある場合、一方は達成しているがもう一方が未達成の際の評価が難しい。

2 システムトライアルの結果

＜トライアル対象施設＞

薬局 4 施設、病院 2 施設に協力を依頼
(4施設から回答)

＜トライアルの実施時期＞

平成30年度第 I 期

(平成30年5月21日～8月5日)

＜トライアル実施項目＞

- 実習日誌(日報)
- 振り返りレポート(週報)
- 到達度評価

実習日誌（日報）

- あまり深く考えなくても誘導されるように入力ができるので楽でした。
- 内容やできたことできななかったことを記入する欄は見やすく使いやすかったですと思いましたが、1日のスケジュールの記入が困難であった。
- 関わった疾患などの項目で、指定されている8疾患以外にも具体的に入力できる方が良いかと思えます。（次年度以降対応予定）

振り返りレポート(週報)

- 今までは日誌と週報の意味合いが曖昧だったが、しっかり1週間を振り返られるのがいいと感じた。
- 対応した疾患など集計してあるのでわかりやすい。
- 欲を言うと学生が実習期間を通じてどの疾患に関わったのか把握するため、実習1週目からの集計も表示できた方がよいと思います。
(実習全体の振り返りレポートで集計可能)

到達度評価

- ルーブリック評価の概念をしっかりと理解していればとても評価しやすく見やすいと感じました。
- 同じ画面で重要なSBOsもあわせて確認しながら入力でき使いやすかった。
- 各段階の不足部分を記入できるようなフリーコメント欄があった方が学生本人も、指導者側もよいと思いました。
- チェックポイントSBOs の表示について、実習でそのSBOsを実施したのかわかると、漏れがなくなると思います。(システムでは非対応)

全体を通して

- マニュアルがなくても感覚的に使えるのでそういう意味でも使いやすかったです。
- 複数実習生を受け入れている場合は、学生間での比較(SBOsや関わった疾患の集計など)ができると、どの学生が何を学んで何が不足しているかわかりやすいので、一覧で表示できる機能があるとありがたい。
- データ出力時、文字数によっては極端に小さくなり見辛い。